
ネコ達の狂想曲

えこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネコ達の狂想曲

【Nコード】

N0731S

【作者名】

えこ

【あらすじ】

カムカンナトウラに住む、ネコと呼ばれる子ども達の日常。
（リハビリがてら書いています。感想・批評歓迎です）

かつて、大きな皇国^{くに}があった。けれどそれは、いつの間にか一つの市街^{まち}が一つの国となり、ゆるやかなまとまりにかわっていた。カムカンナトウラはそんな市街^{まち}の一つだ。皇国^{くに}でも屈指の良港をもち、貿易がさかんだった港町は市街^{まち}が国になってもかわらず貿易と、いくつかの手工業を中心とした港町だった。

花太郎^{はなたろう}は、そんな港町、カムカンナトウラにすむネコだ。むろん、ニヤアと鳴く猫ではない。ネズミという、おとなの目にはうつらない影のような生き物、ありていに云えば化け物、を狩る子ども達を、市街^{まち}の人間はネコと呼ぶ。そしてネコの大多数は親兄弟や家をもたない浮浪児だ。だから花太郎も浮浪児だ。親の顔を知らなければ兄弟もない。ちゃんとした家もない。それを不幸だと云う人もいるだろう。けれど花太郎が不幸だったことは、ない。

だから花太郎は今日も元気に笑顔で。

ニヤア、と鳴いてみる。

カムカンナトウラの市街^{まち}を、おおきく蛇行しながら東西にわけらカムナト大河^{おおかわ}。そこに架かる一の大橋から川にそって二の大橋に向かう途中に、花太郎が峙^{ねくら}にしている社^{やしろ}がある。何でも水難から守ってくれる神さまを祀^{まつ}っているとかで、船方^{ふなかた}やら貿易商やらから篤く信仰されているらしい。寄進された灯籠には、ちいさな船の名前からカムカンナトウラで一、二をあらそう貿易商の本店^{おおだな}の名前まであ

る。隅々まで手の行きとどいた、そこその広さをゆうするこの狭^{しや}姫神社の一角で、花太郎はうたた寝をしていた。ぽかぽかと穏やかに春の陽がそそぐ、何とも陽氣のよい日なのだ。無理もない。

「んがッ……」

かるく息をつまらせ、花太郎は目をさます。くりつとした、おおきな目がひらかれ、鳶色^{とびいろ}の眸^{ひとみ}があらわれる。ぼんやりと、いまだ焦点があわないのは半分夢の中にいるからか。そのまま一つ、二つ瞬^{まはた}く。そして。

「……うーん」

両手足をのばしてから花太郎はゆつくりと起きあがる。右に左に、辺りの様子をたしかめるように頭をまわし。

「なんだ、まだ昼か」

ひどくつならなさそうに呟いた。

手も足も首も、体全体がほそく頼りなく、短身瘦軀^{たんしんやうく}といって問題ないその体は同じ年の頃の子どもとくらべても、かなりやせ細っている。きれいに切りそろえられた黒髪の艶やかさが逆にそぐわないほどだ。

「ふわア……」

あくび一つ。

そこで花太郎は、はた、と気づく。

「あれ？ ユキがない」

いつもだったらその辺にいる相棒の姿がみあたらず、花太郎は首をかしげた。てつきり一緒に昼寝をしてるとばかり思っていたのだが。

「んー？ ドコ行ったんだ、アイツ」

四六時中、片時も離れず一緒にいるような仲ではないが、姿がないならないうで、やはり気になる。探しに行くか行かまいか。胡座^{あくら}をかき、足首のところに両手をそえながら、ぐるぐると体をうごかしながら花太郎は思案する。

ぐうううう。

何かを催促するように腹の虫になる。

「……。昼飯がてら、うろつくか」

市街をうろついていれば、その内みつかるだろう、と花太朗は結論する。決めてしまえば後は早い。寝るときにとった帽子と手袋を再び身につけ、己が身の片割れである鉄扇二つを腰からさげる。

「よし、行くか」

云って花太朗は、御神木の陰がおちる社の屋根から、その、おおきな御神木の枝へとかるがる飛びうつり、そのまま周りの家々の屋根を足場にいずこかへと姿をけした。

1（後書き）

リハビリがてら書いています。
少しでも楽しんでいただければ幸い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0731s/>

ネコ達の狂想曲

2011年10月8日04時51分発行